

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科	科 目		期間	担当者
国 語	現代の国語	単位数： 1 単位 [標準単位：2 単位]	半年	石 綿 泰 之

指導目標

1. 文章を論理的に理解するために必要となる、文章構成の捉え方や要旨を把握する力、語彙力を身につける。

スクーリング	全 14 回	面接指導： 2 回 講義： 12 回	教科書	高等学校『現代の国語』第一学習社
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		高等課程一年

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	月	作文		○	
2	4/21	月	「生きもの」として生きる、中村桂子①		○	
3	4/28	月	「生きもの」として生きる、中村桂子②		○	
4	5/12	月	国語常識①漢字・熟語		○	5/19
5	5/19	月	「生きもの」として生きる、中村桂子③		○	
6	5/26	月	中間試験	○		
7	6/2	月	「生きもの」として生きる、中村桂子④		○	
8	6/9	月	国語常識②同音異義語・同訓異字		○	6/10
9	6/16	月	「生きもの」として生きる、中村桂子⑤		○	
10	6/23	月	「生きもの」として生きる、中村桂子⑥		○	
11	6/30	月	国語常識③慣用句		○	7/1
12	7/14	月	「天声人語」文章の構成を学ぶ		○	
13	7/22	火	期末試験(7/22-24)	○		
14	9/29	月	国語常識④故事成語		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
国 語		現代の国語	単位数： 1単位 [標準単位：2単位]	半年	石 綿 泰 之	
指導目標 1. 文章を論理的に理解するために必要となる、文章構成の捉え方や要旨を把握する力、語彙力を身につける。						
スクーリング	全 13 回	面接指導： 2 回	教科書	高等学校『現代の国語』第一学習社		
		講 義： 11 回				
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
		その他： 0 回				
定期試験	あ り	学 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		高等課程二年		
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/21	月	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」原田マハ①		○	
2	4/28	月	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」原田マハ②		○	
3	5/12	月	国語常識①熟語		○	5/12
4	5/19	月	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」原田マハ③		○	
5	5/26	月	中間試験	○		
6	6/2	木	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」原田マハ④		○	
7	6/9	月	国語常識②同音異義語・同訓異字		○	6/09
8	6/16	月	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」原田マハ⑤		○	
9	6/23	月	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」原田マハ⑥		○	
10	6/30	月	国語常識③慣用句		○	6/30
11	7/14	月	「天声人語」文章の構成を学ぶ		○	
12	7/22	月	期末試験(7/22-24)	○		
13	9/29	月	国語常識④故事成語		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
国 語		現代の国語	単位数： 1 単位 [標準単位：2 単位]	半年	石 綿 泰 之	
指導目標 1. 文章を論理的に理解するために必要となる、文章構成の捉え方や要旨を把握する力、語彙力を身につける。						
スクーリング	全 15 回	面接指導： 2 回	教科書	高等学校『現代の国語』第一学習社		
		講 義： 13 回				
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
		その他： 0 回				
定期試験	あ り	学 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		高等課程三年		
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	月	「羅生門」芥川龍之介①		○	
2	4/21	月	「羅生門」芥川龍之介②		○	
3	4/28	月	国語常識①熟語		○	
4	5/12	月	「羅生門」芥川龍之介③		○	5/12
5	5/19	月	「羅生門」芥川龍之介④		○	
6	5/26	月	中間試験		○	
7	6/2	木	国語常識②同音異義語・同訓異字	○		
8	6/9	月	「羅生門」芥川龍之介⑤		○	6/09
9	6/16	月	「羅生門」芥川龍之介⑥		○	
10	6/23	月	国語常識③慣用句		○	6/23
11	6/30	月	「羅生門」芥川龍之介⑦		○	
12	7/7	月	国語常識④故事成語	○		
13	7/14	月	試験の傾向と対策		○	
14	7/22	火	期末試験(7/22-24)		○	
15	9/29	月	国語常識⑤		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
国 語		言語文化	単位数： 1 単位 [標準単位：2 単位]	半年	石 綿 泰 之	
指導目標 1. 古文や漢文、伝統文化に関する文章に触れ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることを目指す。						
スクーリング	全 17 回	面接指導： 2 回	教科書	高等学校『言語文化』第一学習社		
		講 義： 15 回				
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
		その他： 0 回				
定期試験	あ り	学 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		高等課程一年		
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	10/6	月	「古文の学習」歴史的仮名遣い		○	
2	10/20	月	「古文の基礎知識」	○		
3	10/27	月	「児のそら寝」宇治拾遺物語①		○	10/27
4	11/10	月	国語常識①		○	
5	11/17	月	「児のそら寝」宇治拾遺物語②		○	
6	12/1	月	「児のそら寝」宇治拾遺物語③		○	12/8
7	12/8	月	国語常識②		○	
8	12/10	火	中間試験		○	
9	12/15	木	「絵仏師良秀」宇治拾遺物語①		○	
10	12/22	月	「絵仏師良秀」宇治拾遺物語②		○	12/22
11	1/19	月	作文「一年の抱負」	○		
12	1/26	月	国語常識③		○	
13	2/2	月	「絵仏師良秀」宇治拾遺物語③		○	
14	2/9	月	「絵仏師良秀」宇治拾遺物語④		○	
15	2/16	月	国語常識④		○	
16	2/24	火	期末試験		○	
17	3/2	月	返却		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
国 語		言 語 文 化		単位数： 1 単位 [標準単位：2 単位]	半年	石 綿 泰 之
指導目標						
1. 古文や漢文、伝統文化に関する文章に触れ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることを目指す。						
スクーリング	全 16 回	面接指導： 2 回 講 義： 14 回	教科書	高等学校『言語文化』第一学習社		
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	学 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		高等課程二年		
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	10/6	月	「土佐日記(門出)」紀貫之①		○	
2	10/20	月	「土佐日記(門出)」紀貫之②	○		
3	10/27	月	国語常識①		○	11/10
4	11/10	月	「土佐日記(門出)」紀貫之③		○	
5	11/17	月	「土佐日記(亡児)」紀貫之④		○	
6	12/1	月	国語常識②		○	12/8
7	12/8	水	中間試験		○	
8	12/15	月	「土佐日記(亡児)」紀貫之⑤		○	
9	12/22	月	「土佐日記(亡児)」紀貫之⑥		○	
10	1/19	木	「土佐日記(帰京)」紀貫之⑦		○	1/19
11	1/26	月	国語常識③	○		
12	2/2	月	「土佐日記(帰京)」紀貫之⑧		○	
13	2/9	月	「土佐日記(帰京)」紀貫之⑨		○	
14	2/16	月	試験の傾向と対策		○	
15	2/24	火	期末試験		○	
16	3/2		返却		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者		
国 語		言 語 文 化		単位数： 1 単位 [標準単位：2 単位]	半年	石 綿 泰 之	
指導目標							
1. 古文や漢文、伝統文化に関する文章に触れ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることを目指す。							
スクーリング	全 9 回	面接指導： 2 回 講 義： 7 回	教科書	高等学校『言語文化』第一学習社			
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	あ り	学 期： 1 回	副教材	配布プリント その他			
定期試験の 評価割合	7 0 %	評定算出方法 1 0 0 法 5 段階評定		高等課程三年			
回	日付	曜 日	単元・学習内容		面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	10/6	月	漢文の学習		○		
2	10/20	月	訓読に親しむ(一)			○	
3	10/27	月	国語常識①			○	10/27
4	11/10	月	訓読に親しむ(二)			○	
5	11/17	月	漁夫の利(戦国策)		○		
6	12/1	月	虎の威を借る狐(戦国策)			○	12/1
7	12/8	月	「近現代の詩歌」①			○	
8	12/10	水	期末試験(12/10-12)			○	12/10
9	12/15	月	返却			○	

教 科	科 目		期間	担当者
地歴	地理総合	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	北田 邦夫
指導目標				
1. 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察する能力を養う。				
2. 現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培う。				
3. 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
スクーリング	全 25 回	面接指導： 10 回 講 義： 15 回	教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院 703） 新詳高等地図（帝国書院 702）
レポート	全 8 回	添削指導： 6 回 その他： 2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 1 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	オリエンテーション・1，プレテスト	○		第 1 回(4/17)
2	4/24	木	2，地上の現象と地球上の位置（地理動画ソフト①）		○	
3	5/1	木	2，地上の現象と地球上の位置・3，時差（地理動画ソフト②）	○		第 2 回(5/1)
4	5/8	木	3，時差・4，地球儀と地図（地理動画ソフト③）		○	第 3 回(5/8)
5	5/15	木	4，地球儀と地図（地理動画ソフト④）・5，身の回りの地図・統計資料の種類と利用	○		第 4 回(5/15)
6	5/22	木	5，身の回りの地図・統計資料の種類と利用	○		第 5 回(5/22)
7	5/29	木	前期中間試験		○	
8	6/5	木	テスト返却		○	
9	6/12	木	6，地理情報システム(GIS)の活用	○		第 6 回(6/12)
10	6/26	木	7，現代世界の国家	○		第 7 回(6/26)
11	7/3	木	8，日本の位置や領域・	○		第 8 回(7/3)
12	7/10	木	9，尖閣諸島は日中どちらのものか	○		第 9 回(7/10)
13	7/17	木	10，結びつきを強める現代社会	○		第 10 回(7/17)
	7/24	木	前期末試験	○		
	9/4	木	// 返却（特別時間割）			
14	9/18	木	11，拡大する貿易	○		第 11 回(9/18)
15	9/25	月	貿易ゲーム		○	
16	10/2	火	12，VTR①『世界がもしも 100 人の村だったら』	○		第 12 回(10/2)
17	10/9	木	13，カカオ生産における児童労働と途上国の貧困の構造	○		第 13 回(10/9)
18	10/16	木	私たちはアベティとコフィのために何ができるか・（グループ学習）		○	
19	10/23	木	14，チョコレートの真実 15，まとめ（効果的な援助とはどういうものかを考える）	○		第 14 回(10/23)
20	10/30	木	15，まとめ（効果的な援助とはどういうものかを考える）	○		第 15 回(10/30)
21	11/6	木	夏季課題発表①		○	
22	11/13	木	夏季課題発表②		○	
23	11/20	木	夏季課題発表③		○	

24	11/27	木	夏季課題発表④		○	第16回(12/4)
25	12/4	木	16, 先進国の肉食と世界の飢餓	○		
	12/11	木	後期末試験			
	12/18	木	// 返却 (特別時間割)			

教 科	科 目		期間	担当者		
地歴	歴史総合	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	北田 邦夫		
指導目標						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。						
スクーリング	全 27 回	面接指導： 13 回 講 義： 18 回	教科書	実教出版 歴史総合		
レポート	全 8 回	添削指導： 6 回 その他： 2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面 接 指 導	講 義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	「歴史総合」とはどんな科目？1,プレテスト	○		第 1 回(4/17)
2	4/24	木	2,江戸時代の日本と東アジア秩序の変動①		○	
3	5/1	木	2,江戸時代の日本と東アジア秩序の変動② 3,イギリスの産業革命①	○		第 2 回(5/1)
4	5/8	木	3,イギリスの産業革命②・アメリカ独立戦争	○		第 3 回(5/8)
5	5/15	木	4,フランス革命①		○	
6	5/22	木	4,フランス革命②	○		第 4 回(5/22)
7	5/29	木	前期中間試験		○	
8	6/5	火	返却 5,アメリカ合衆国の発展(南北戦争)とラテンアメリカの独立	○		第 5 回(6/5)
9	6/12	木	6,アヘン戦争の衝撃と日本の開国①		○	
10	6/19	木	6,アヘン戦争の衝撃と日本の開国②	○		第 6 回(6/19)
11	6/26	木	7,江戸幕府の滅亡①		○	
12	7/3	木	7,江戸幕府の滅亡②	○		第 7 回(7/3)
13	7/10	木	8,明治政府の諸改革①		○	
14	7/17	木	8,明治政府の諸改革②	○		第 8 回(7/17)
	7/24	木	前期末試験			
	9/4	水	試験返却 (特別時間割)			
15	9/18	木	9,日本のアジア外交と国境問題	○		第 9 回(9/18)
16	9/25	木	10,自由民権運動と大日本帝国憲法①		○	
17	10/2	木	10,自由民権運動と大日本帝国憲法②	○		第 10 回(10/2)
18	10/9	木	11,帝国主義の時代へ	○		第 11 回(10/9)
19	10/16	木	12,日清戦争と東アジア①		○	
20	10/23	木	12,日清戦争と東アジア②	○		第 12 回(10/23)
21	10/30	木	夏季課題発表①		○	
22	11/6	木	夏季課題発表②		○	
23	11/13	木	夏季課題発表③		○	
24	11/20	木	13,日露戦争と東アジアの変動①		○	

25	12/4	木	13,日露戦争と東アジアの変動②			第13回(12/4)
26	12/11	木	後期中間試験		○	
27	12/18	木	テスト返却・14,VTR 大量殺戮の完成①		○	
28	1/8	木	14,VTR 大量殺戮の完成②		○	第14回(1/15)
29	1/15	木	14,VTR 大量殺戮の完成③	○		
30	1/22	木	15,第一次世界大戦	○		第15回(1/22)
31	1/29	木	16,アジアの民族運動(VTR ガンジーの非暴力の戦い)	○		第16回(1/29)
32	2/5	木	(Q1)生徒の疑問点をあげる 17, ガンジーはなぜ非暴力で勝利できたのか?		○	
33	2/12	木	(Q2)インド民衆はなぜガンジーの非暴力運動を支持したか?	○		第17回(2/12)
34	2/19	木	(Q3)暴力と非暴力のメリットとデメリット		○	
	2/26	月	後期末試験	/	/	
			返却	/	/	

2025年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科	科 目		期間	担当者
地歴公民	公共	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	鈴木浩正
指導目標 人間と社会についての見方や考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質能力を育成する。 1. 諸資料から論理的主体などを通じて活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 2. 選択・判断の手がかりとなる考え方、公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。 3. 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。				
スクーリング	全 38 回	面接指導： 24 回 講 義： 4 回	教科書	第一学習社 高等学校 新公共(教711)
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 そ の 他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期期末： 2 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	(木)	公共的な空間を生きる私たち			第1回レポート (5/1)
2	4/24	(木)	公共的な空間における人間としてのあり方生き方			
3	5/1	(木)	善く生きたとは？（添削指導）			
4	5/8	(木)	公共的な空間における基本原理①			第2回レポート(1枚) (5/22)
5	5/15	(木)	公共的な空間における基本原理②			
6	5/22	(木)	添削指導			
7	5/29	(木)	中間試験			第2回レポート(1枚) (6/12)
8	6/5	(木)	法や規範の意義と役割①			
9	6/12	(木)	法や規範の意義と役割②（添削指導）			
10	6/19	(木)	法や規範の意義と役割③			第3回レポート (7/17)
11	6/26	(木)	法や規範の意義と役割④			
12	7/3	(木)	政治参加と公正な世論形成①			
13	7/10	(木)	政治参加と公正な世論形成②			第4回レポート (10/9)
14	7/17	(木)	添削指導			
15	7/24	(木)	期末試験			
16	9/4	(木)	様々な政治体制と日本の国会・内閣①			第5回レポート (12/4)
17	9/18	(木)	様々な政治体制と日本の国会・内閣②			
18	9/25	(木)	国際社会と国家主権①			
19	10/2	(木)	国際社会と国家主権②			第6回レポート (2/19)
20	10/9	(木)	国際社会と国家主権③			
21	10/16	(木)	NIEワークシート		○	
22	10/23	(木)	国際平和のために日本は何ができるだろうか①			第6回レポート (2/19)
23	10/30	(木)	国際平和のために日本は何ができるだろうか②			
24	11/6	(木)	市場経済の機能と限界①			
25	11/13	(木)	市場経済の機能と限界②			第6回レポート (2/19)
26	11/20	(木)	市場経済の機能と限界③			
27	11/27	(木)	NIEワークシート		○	
28	12/4	(木)	添削指導			第6回レポート (2/19)
29	12/11	(木)	中間試験			
30	12/18	(木)	経済のグローバル化①			
31	1/8	(木)	経済のグローバル化②			第6回レポート (2/19)
32	1/15	(木)	NIEワークシート		○	
33	1/22	(木)	経済のグローバル化③			
34	1/29	(木)	経済のグローバル化④			第6回レポート (2/19)
35	2/5	(木)	NIEワークシート		○	
36	2/12	(木)	経済のグローバル化⑤			
37	2/19	(木)	添削指導			
38	2/26	(木)	期末試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科	科 目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	鈴木 海渡
指導目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。 2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。 3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
スクーリング	全 37 回	面接指導： 8 回 講 義： 17 回	教科書	数研出版 新 高校の数学 I
レポート	全 8 回	添削指導： 8 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	授業プリント（配布）
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	授業説明・計算の基本 (p8~10)		○	第 1 回 (5/1)
2	4/24	木	単項式と多項式 (p 11~15)	○		
3	5/1	木	添削指導			
4	5/8	木	指数法則 (p 16~19)		○	第 2 回 (5/22)
5	5/15	木	展開の公式 (1) (p 20~21)	○		
6	5/22	木	添削指導			
7	5/26 (月) ~ 5/29 (木) 中間試験					
8	6/5	木	展開の公式 (2) (p 21~22)		○	第 3 回 (6/19)
9	6/12	木	因数分解 (1) (p 23~24)	○		
10	6/19	木	添削指導			
11	6/26	木	因数分解 (2) (p 25)		○	第 4 回 (7/17)
12	7/3	木	因数分解 (3) (p 26~27)		○	
13	7/10	木	展開・因数分解の工夫 (p 28)	○		
14	7/17	木	添削指導			
15	7/22 (火) ~ 7/24 (木) 期末試験					
	9/1 (月) ~ 9/4 (木) 試験返却					
16	9/18	木	根号を含む式の計算 (1) (p 29~30)		○	第 5 回 (10/23)
17	9/25	木	根号を含む式の計算 (2) (p 30~31)		○	
18	10/2	木	根号を含む式の計算 (3) (p 32~33)	○		
19	10/9	木	実数 (p 34~36)		○	
20	10/16	木	1 次方程式 (p 40~41)		○	
21	10/23	木	添削指導			
22	10/30	木	不等式 (1) (p 42~43)		○	第 6 回 (12/4)
23	11/6	木	不等式 (2) (p 44~45)		○	
24	11/13	木	不等式の解 (1) (p 46~47)		○	
25	11/20	木	不等式の解 (2) (p 48~49)		○	

26	11/27	木	不等式の解 (3) (p 50)	○		
27	12/4	木	添削指導			
28	12/8 (月) ~12/11 (木) 中間試験					
29	12/18	木	集合 (p 136~138)		○	第7回 (1/22)
30	1/8	木	命題 (p 139~140)		○	
31	1/15	木	命題 (反例・否定) (p 141)	○		
32	1/22	木	添削指導			
33	1/29	木	命題 (必要条件と十分条件) (p 142~143)		○	第8回 (2/19)
34	2/5	木	命題 (逆・対偶) (p 144~145)		○	
35	2/12	木	命題 (背理法) (p 146)	○		
36	2/19	木	添削指導			
37	2/20 (金) ~2/26 (金) 期末試験					
	3/2 (月) ~3/4 (水) 試験返却					

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科	科 目		期間	担当者
数学	数学I	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	鈴木 海渡
指導目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。 2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。 3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
スクーリング	全 36 回	面接指導： 8 回 講 義： 15 回	教科書	数研出版 新 高校の数学 I
レポート	全 8 回	添削指導： 8 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	授業プリント（配布）
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	授業説明・三平方の定理 (p 100～101)		○	第 1 回 (5/1)
2	4/24	木	三角比 (p 102～105)	○		
3	5/1	木	添削指導			
4	5/8	木	三角比の利用 (1) (p 106～107)		○	第 2 回 (5/22)
5	5/15	木	三角比の利用 (2) (p 108～109)	○		
6	5/22	木	添削指導			
7	5/26 (月)～5/29 (木) 中間試験					
8	6/5	木	三角比の相互関係 (p 111～113)		○	第 3 回 (6/19)
9	6/12	木	鈍角の三角比 (p 114～117)	○		
10	6/19	木	添削指導			
11	6/26	木	正弦定理 (p 120～123)		○	第 4 回 (7/17)
12	7/3	木	余弦定理 (p 124～127)	○		
13	7/10	木	三角形の面積 (p 128)		○	
14	7/17	木	添削指導			
15	7/22 (火)～7/24 (木) 期末試験					
	9/1 (月)～9/4 (木) 試験返却					
16	9/18	木	1 次関数のグラフ (p 58～61)		○	第 5 回 (10/9)
17	9/25	木	2 次関数のグラフ (1) (p 62～65)		○	
18	10/2	木	2 次関数のグラフ (2) (p 66～70)	○		
19	10/9	木	添削指導			
20	10/16	木	平方完成 (p 71～74)		○	第 6 回 (11/6)
21	10/23	木	2 次関数の最大値・最小値 (1) (p 77～79)		○	
22	10/30	木	2 次関数の最大値・最小値 (2) (p 80～82)	○		
23	11/6	木	添削指導			
24	11/13	木	2 次方程式 (p 83～86)		○	第 7 回 (12/4)
25	11/20	木	2 次不等式 (p 87～91)	○		

26	12/4	木	添削指導			
27	12/8 (月) ～12/11 (木) 中間試験					
28	12/18	木	データの整理 (p 152～154)		○	第8回 (2/19)
29	1/8	木	データの代表値 (p 155～157)		○	
30	1/15	木	四分位数・箱ひげ図 (p 158～162)		○	
31	1/22	木	分散・標準偏差 (p 163～164)		○	
32	1/29	木	散布図 (p 165～167)		○	
33	2/5	木	相関係数 (p 168～169)		○	
34	2/12	木	仮説検定の考え方 (p 170～171)	○		
35	2/19	木	添削指導			
36	2/20 (金) ～2/26 (金) 期末試験					
	3/2 (月) ～3/4 (水) 試験返却					

教 科		科 目		期間	担当者
理科		科学と人間生活		単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間 飯塚 浩
指導目標 1. 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解し、身の回りにある事物や現象に興味を持てるようになる。 2. 将来にわたって自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味・関心をもち続けることの大切さを理解する。					
スクーリング	全 30 回	面接指導： 16 回 講 義： 4 回	教科書	第一学習社 高等学校 科学と人間生活	
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 そ の 他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
定期試験	あり	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他	
定期試験の評価割合	70%	評定算出方法は総合点100点法5段階評定 総合点＝試験素点(7割)+平常点(3割) 素点は定期試験の平均点 平常点はレポート点(2割)+出席点(1割)とする			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	月	ガイダンス 序章 科学技術の発展 化学分野 中学校の振り返り 元素記号についてを含む	○		第1回 (5/12) p17 p42-p55
2	4/21	月	第2節衣料と食品 1身近な繊維 2繊維の構造と染色 3天然繊維 4化学繊維	○		
3	4/28	月	5食品の中の主な栄養素 6炭水化物(1) 7炭水化物(2)	○		
4	5/12	月	添削指導			
5	5/19	月	前期中間までの振り返り		○	
6	5/26	月	前期中間試験			
7	6/2	月	8タンパク質 9脂質 10その他の栄養素	○		第2回 (7/1) p56-p61 p65-p71
8	6/9	月	第Ⅱ章生命の科学 第1節人の生命現象 1タンパク質の働きと構造 2遺伝子とDNA	○		
9	6/16	月	添削指導			
10	6/23	月	3タンパク質の合成	○		第3回 (7/7) p72-p77
11	6/30	月	4血糖濃度の調節 5血糖濃度と糖尿病	○		
12	7/7	月	添削指導			
13	7/14	月	前期期末までの振り返り		○	
14	7/22(火)～7/24(木)前期期末試験期間					
	9/1(月)～9/4(木)試験返却期間					
15	9/29	月	第Ⅲ章熱や光の科学 第1節熱の性質とその利用 1温度と熱運動 2熱容量と比熱(1)	○		第4回 (10/20) p112-p119
16	10/6	月	3熱容量と比熱(2) 4熱の伝わり方	○		
17	10/20	月	添削指導			
18	10/27	月	5仕事や電流と熱の発生 6エネルギーの移り変わり	○		第5回 (11/17) p120-p127
19	11/10	月	7エネルギー資源の有効活用	○		
20	11/17	月	添削指導			
21	12/1	月	後期前期中間までの振り返り		○	
22	12/8	月	後期中間試験			
23	12/15	月	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節自然景観と自然災害 1日本列島のなりたち	○		第6回 (2/9) p148-p165
24	12/22	月	2火山活動と地表の変化 3火山災害と防災	○		
25	1/19	月	4地震活動と地表変化 5地震災害と防災	○		
26	1/26	月	6水のはたらきと地表変化(1) 7水のはたらきと地表変化(2)	○		
27	2/2	月	8気象災害と防災	○		
28	2/9	月	添削指導			
29	2/16	月	後期期末までの振り返り		○	
30	2/24(火)～2/26(木)後期期末試験					
	3/2(月)～3/4(水)試験返却					

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
理科		化学基礎	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	渡辺 礼子	
指導目標 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。						
スクーリング	全30回	面接指導：14回 講 義：12回	教科書	数研出版『新編 化学基礎』		
レポート	全7回	添削指導： 6回 その他： 1回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	配布プリント その他		
定期試験評価割合	70 %	評定算出方法 100点法5段階評定		高等課程2年		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	入門		○	第0回(4/22)
2	4/22	火	物質の構成① 混合物と純物質 物質とその成分	○		第1回(5/20)
3	5/13	火	物質の構成② 物質の三態と熱運動	○		
4	5/20	火	物質の構成粒子① 原子とその構造	○		第2回(6/4)
5	5/27	火	前期中間試験			
6	6/3	火	物質の構成粒子② イオン	○		第2回(6/4)
7	6/10	火	物質の構成粒子③ 元素の周期表		○	
8	6/17	火	粒子の結合① イオン結合とイオンからなる物質①	○		第3回(9/12)
9	6/24	火	粒子の結合② イオン結合とイオンからなる物質②		○	
10	7/1	火	粒子の結合③ 分子と共有結合①	○		
11	7/8	火	粒子の結合④ 分子と共有結合②		○	
12	7/15	火	粒子の結合⑤ 共有結合の結晶		○	
13		火	前期期末試験			
14	10/7	火	粒子の結合⑥ 金属結合と金属		○	第3回(9/12)
15	10/14	火	物質と化学反応式① 原子量・分子量・式量		○	第4回(11/5) 第4回(11/5)
16	10/28	火	物質と化学反応式② 物質と		○	
17	11/4	木	物質と化学反応式③ 溶液の濃度	○		
18	11/11	火	物質と化学反応式④ 化学反応式と物質①	○		
19	11/18	火	物質と化学反応式⑤ 化学反応式と物質②		○	
20	11/25	火	酸と塩基の反応① 酸・塩基①	○		第5回(1/14)
21	12/2	火	酸と塩基の反応② 酸・塩基②		○	
22	12/9	火	後期中間試験			
23	12/16	火	酸と塩基の反応③ 水の電離と水溶液	○		第6回(2/27)
24	12/23	火	酸と塩基の反応④ 中和反応と塩	○		
25	1/13	火	酸と塩基の反応⑤ 中和滴定		○	
26	1/20	火	酸化還元反応① 酸化と還元	○		
27	1/27	火	酸化還元反応② 酸化剤と還元剤	○		
28	2/3	火	酸化還元反応③ 金属の酸化還元反応		○	
29	2/17	火	酸化還元反応⑤ 酸化還元反応の応用	○		
30		火	後期期末試験			

教 科	科 目		期間	担当者
保健体育	保健	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	蓮見 恵太
指導目標 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うなど、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。				
スクーリング	全 30 回	面接指導： 3 回 講 義： 23 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 そ の 他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	1単元 01. 健康の考え方と成り立ち		○	第1回配布 (5/20回収)
2	4/22	火	02. 私たちの健康のすがた～03. 生活習慣病の予防と回復		○	
3	5/13	火	04. がんの原因と予防～05. がんの治療と回復		○	
4	5/20	火	06. 運動と健康～08. 休養・睡眠と健康		○	
5	5/27	火	※春学期 中間試験			
6	6/3	火	※春学期 中間試験返却		○	
7	6/10	火	09. 喫煙と健康～10. 飲酒と健康		○	第2回配布 (7/1回収)
8	6/17	火	11. 薬物乱用と健康		○	
9	6/24	火	12. 精神疾患の特徴～13. 精神疾患の予防		○	
10	7/1	火	14. 精神疾患からの回復		○	
11	7/8	火	4単元 01. 大気汚染と健康～03. 環境と健康にかかわる対策	○		
12	7/15	火	04. ごみの処理と上下水道の整備～06. 食品衛生にかかわる活動	○		
13	7/22		※春学期 期末試験			
	9/2		※春学期 期末試験返却			
14	10/7	火	15. 現代の感染症		○	第3回配布 (11/4回収)
15	10/14	火	16. 感染症の予防		○	
16	10/28	火	17. 性感染症・エイズとその予防		○	
17	11/4	火	18. 健康に関する意思決定・行動選択～19. 健康に関する環境づくり		○	
18	11/11	火	2単元 01. 事故の現状と発生要因～02. 安全な社会の形成		○	第4回配布 (12/2回収)
19	11/18	火	03. 交通における安全		○	
20	11/25	火	04. 応急手当の意義とその基本		○	
21	12/2	火	05. 日常的な応急手当～06. 心肺蘇生法		○	
22	12/9	火	※秋学期 中間試験			
23	12/16	火	※秋学期 中間試験返却		○	
24	12/23	火	4単元 07. 保健サービスとその活動～11. 健康に関する環境づくりと社会参加	○		
25	1/13	火	3単元 01. ライフステージと健康～02. 思春期と健康		○	第5回配布 (1/27回収)
26	1/20	火	03. 性意識と性行動の選択～04. 妊娠・出産と健康		○	
27	1/27	火	05. 避妊法と人工妊娠中絶～06. 結婚生活と健康		○	
28	2/3	火	07. 中高年期と健康～08. 働くことと健康		○	第6回配布 (2/17回収)
29	2/17	火	09. 労働災害と健康～10. 健康的な職業生活		○	
30	2/●		※秋学期 期末試験			
	3/●		※秋学期 期末試験返却			

教 科	科 目		期 間	担 当 者
保健体育	体育	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	蓮見 恵太
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 28 回	面接指導： 22 回 講 義： 6 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回 そ の 他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	前期期末： 0 回 後 期： 0 回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/22	火	ガイダンス・集団行動・体づくり運動 バドミントン(打ち上げ等基本練習)	○		第1回配布 (5/20回収)
2				○		
3	5/20	火	集団行動 バドミントン(打ち上げ等基本練習・サービス)	○		
4				○		第2回配布 (6/3回収)
5	6/3	火	バドミントン 実技テスト		○	
6					○	
7	6/17	火	バドミントン(サービス・ラリー)		○	
8					○	
9	7/1	火	バドミントン 実技テスト		○	
10					○	
11	7/15	火	バドミントン(ゲーム)		○	
12					○	
13	10/14	火	バスケットボール(ハンドリング・シュート)	○		第3回配布 (10/14回収)
14				○		
15	11/4	火	バスケットボール(ハンドリング・シュート)		○	
16					○	
17	11/18	火	バスケットボール 実技テスト		○	
18					○	
19	12/2	火	バスケットボール(ドリブル・シュート)		○	
20					○	
21	12/16	火	バスケットボール(ドリブル・シュート)		○	
22					○	
23	1/13	火	バスケットボール 実技テスト		○	
24					○	
25	1/27	火	バスケットボール(ゲーム)		○	
26					○	

教 科	科 目		期 間	担 当 者
保健体育	体育	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	蓮見 恵太
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 28 回	面接指導： 22 回 講 義： 6 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回 そ の 他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	前期期末： 0 回 後 期： 0 回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	ガイダンス・体づくり運動 バドミントン(打ち上げ等基本練習・サービス)	○		第1回配布 (5/13回収)
2				○		
3	5/13	火	バドミントン(打ち上げ等基本練習・サービス)	○		
4				○		
5	5/27	火	バドミントン 実技テスト		○	
6					○	
7	6/10	火	バドミントン(サービス・ラリー)		○	
8					○	
9	6/24	火	バドミントン 実技テスト		○	
10					○	
11	7/8	火	バドミントン(ゲーム)		○	
12					○	
13	10/7	火	バスケットボール(ハンドリング・シュート)	○		第2回配布 (10/28回収)
14				○		
15	10/28	火	バスケットボール(ハンドリング・シュート)		○	第3回配布 (11/11回収)
16					○	
17	11/11	火	バスケットボール 実技テスト		○	
18					○	
19	11/25	火	バスケットボール(ドリブル・シュート)		○	
20					○	
21	12/9	火	バスケットボール(ドリブル・シュート)		○	
22					○	
23	12/23	火	バスケットボール 実技テスト		○	
24					○	
25	1/20	火	バスケットボール(ゲーム)		○	
26					○	
27	2/3	火	バスケットボール(ゲーム)		○	
28					○	

指導目標
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

[illegible]

2025年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：町田美容専門学校1年

教科	科目		期間	担当者
芸術	美術 I	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	沼田 健
指導目標 1. 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。 2. 美術に関する専門的な知識や技能を働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 3. 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を作り上げる喜びを味わう。				
スクーリング	全 28 回	面接指導：16 回 講義：12 回	教科書	光村図書美術1
レポート	全 8 回	添削指導：6 回 その他：2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学 期： 回	副教材	配布プリント
定期試験の評価割合	%			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	オリエンテーション 自分すごろくを描く	○		第1回 (5/13)
2	4/15	火	鉛筆の練習、線の抑揚の練習、構図の練習	○		
3	5/13	火	グレースケール	○		
4	5/13	火	大顔面で陰影の練習	○		第2回 (5/27)
5	5/27	火	透視図法、基礎形のデッサン	○		
6	5/27	火	透視図法、基礎形のデッサン		○	
7	6/10	火	色彩	○		第3回(6/24)
8	6/10	火	色彩、三原色の実践、混色		○	
9	6/24	火	デザインの実践(色紙で色彩構成)	○		
10	6/24	火	デザインの実践(色紙で色彩構成)		○	第4回(7/8)
11	7/8	火	ゼンタングル	○		
12	7/8	火	ゼンタングル		○	
13	10/7	火	イラストレーション	○		第5回(10/28)
14	10/7	火	イラストレーション、星座イラスト		○	
15	10/28	火	イラストコラム	○		
16	10/28	火	イラストコラム		○	
17	11/11	火	ロゴデザイン	○		第6回 (11/25)
18	11/11	火	ロゴデザイン		○	
19	11/25	火	切り絵	○		
20	11/25	火	切り絵		○	
21	12/9	火	コラージュ	○		第7回 (12/23)
22	12/9	火	コラージュ		○	
23	12/23	火	抽象表現、鑑賞	○		
24	12/23	火	抽象表現、デペイズマン	○		
25	1/20	火	抽象表現、デペイズマン		○	第8回 (2/3)
26	1/20	火	抽象表現、デペイズマン		○	
27	2/3	火	ロゴデザイン	○		
28	2/3	火	ロゴデザイン		○	

2025年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：町田美容専門学校2年

教科	科目		期間	担当者
芸術	美術Ⅱ	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	沼田 健
指導目標 1. 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。 2. 美術に関する専門的な知識や技能を働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 3. 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を作り上げる喜びを味わう。				
スクーリング	全 28 回	面接指導：16 回 講義：12 回	教科書	光村図書美術Ⅱ
レポート	全 8 回	添削指導：6 回 その他：2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学 期： 回	副教材	配布プリント
定期試験の 評価割合	%			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/22	火	自画像を描く	○		第1回 (5/20)
2	4/22	火	自画像を描く	○		
3	5/20	火	自画像を描く		○	
4	5/20	火	トリック自画像制作	○		
5	6/3	火	トリック自画像制作	○		第2回 (6/17)
6	6/3	火	トリック自画像制作		○	
7	6/17	火	トリック自画像制作		○	
8	6/17	火	鑑賞		○	
9	7/1	火	仮面デザイン	○		第3回 (7/15)
10	7/1	火	仮面デザイン	○		
11	7/15	火	仮面デザイン		○	
12	7/15	火	仮面デザイン		○	
13	10/14	火	パラパラ漫画	○		第4回 (10/14)
14	10/14	火	パラパラ漫画	○		
15	11/4	火	パラパラ漫画		○	第5回 (10/8)
16	11/4	火	パラパラ漫画		○	
17	11/18	火	鑑賞		○	
18	11/18	火	自画像イラスト	○		第6回 (12/16)
19	12/2	火	4コマ漫画制作	○		
20	12/2	火	4コマ漫画制作	○		
21	12/16	火	イラスト干支イラスト	○		
22	12/16	火	イラスト干支イラスト	○		第7回 (1/27)
23	1/13	火	鑑賞		○	
24	1/13	火	立体、紙立体	○		
25	1/27	火	立体、紙立体	○		
26	1/27	火	立体、紙立体		○	第8回 (2/17)
27	2/17	火	立体、紙立体		○	
28	2/17	火	立体表現、紙立体	○		

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
英 語		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I (1 年 次)	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	井 坂 朝 子	
指導目標						
1. 英語を通して、言語や文化に対する理解を深める。						
2. 英語に対する苦手意識をなくし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。						
3. 平易な文のリスニング、スピーキング、ライティングの基礎を固める。						
スクーリング	全 37 回	面接指導： 16 回 講 義： 11 回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)		
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	ガイダンス / アルファベット筆記体	○		第1回 (5/1)
2	4/24	木	Warm-up 1・2		○	
3	5/1	木	Warm-up 3 辞書の使い方・疑問詞		○	
4	5/8	木	Pre-Lesson 1	○		第2回 (5/22)
5	5/15	木	Pre-Lesson 2		○	
6	5/22	木	Communication1 自己紹介	○		
7	5/		前期中間試験			
8	6/5	木	試験返却	○		
9	6/12	木	Lesson 1 (1)	○		第3回 (7/10)
10	6/19	木	Lesson 1 (2)			
11	6/26	木	Lesson 1 (3)		○	
12	7/3	木	Lesson 1 (4)		○	
13	7/10	木	Lesson 1 まとめ / 過去形	○		
14	7/17	木	試験対策	○		
15	7/		前期期末試験			
16	9/18	木	試験返却	○		
17	9/25	木	Lesson 2 (1)	○		第4回 (10/23)
18	10/2	木	Lesson 2 (2)			
19	10/9	木	Lesson 2 (3)		○	
20	10/16	木	Lesson 2 (4)			
21	10/23	木	Lesson 2 まとめ	○		
22	10/30	木	進行形		○	
23	11/6	木	Communication 2 道案内	○		第5回 (11/27)
24	11/13	木	文法のまとめ① p36-37			
25	11/20	木	文法のまとめ② p36-37	○		
26	11/27	木	さまざまな場面での表現		○	
27	12/4	木	試験対策			
28	12/		後期中間試験	○		
29	12/18	木	試験返却 / 助動詞			
30	1/8	木	Lesson 3 (1)			第6回 (2/12)
31	1/15	木	Lesson 3 (2)	○		
32	1/22	木	Lesson 3 (3)		○	
33	1/29	木	Lesson 3 (4)			
34	2/5	木	Lesson 3 まとめ		○	
35	2/12	木	Lesson 3 まとめ		○	
36	2/19	木	試験対策	○		
37	2/		後期期末試験	○		

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
英 語		英語コミュニケーションⅠ (2年次)	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	井 坂 朝 子	
指導目標						
1. 教科書レベルの平易な文を聞き取り、理解できるようにする。						
2. 教科書レベルの平易な文で、自分の考え、感情を伝えられるようにする。						
3. 題材の背景にある自然、文化について理解を深める。						
スクーリング	全 37 回	面接指導： 16 回 講 義： 11 回	教科書	All Abroad! English CommunicationⅠ(東京書籍)		
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	Warm-up / Lesson4 (1)	○		第1回(4/17)
2	4/24	木	Lesson4 (2)		○	第2回(5/15)
3	5/1	木	Lesson4 (3)			
4	5/8	木	Lesson4 (4)	○		
5	5/15	木	Lesson4 まとめ		○	
6	5/22	木	試験対策 / to不定詞	○		
7	5/		前期中間試験			
8	6/5	木	試験返却 / Lesson5 (1)	○		第3回(7/10)
9	6/12	木	Lesson5 (2)	○		
10	6/19	木	Lesson5 (3)			
11	6/26	木	Lesson5 (4)		○	
12	7/3	木	Lesson5 (5)		○	
13	7/10	木	Lesson5 まとめ / 動名詞	○		
14	7/17	木	試験対策	○		
15	7/		前期期末試験			
16	9/18	木	試験返却	○		
17	9/25	木	Lesson6 (1)	○		第4回(10/30)
18	10/2	木	Lesson6 (2)			
19	10/9	木	Lesson6 (3)		○	
20	10/16	木	Lesson6 (4)		○	
21	10/23	木	Lesson6 (5)	○		
22	10/30	木	Lesson6 まとめ		○	
23	11/6	木	受け身	○		第5回(11/27)
24	11/13	木	Communication3 乗換案内			
25	11/20	木	文法のまとめ(1)	○		
26	11/27	木	文法のまとめ(2)		○	
27	12/4	木	試験対策			
28	12/		後期中間試験			
29	12/18	木	試験返却	○		
30	1/8	木	Lesson7 (1)			第6回(2/12)
31	1/15	木	Lesson7 (2)	○		
32	1/22	木	Lesson7 (3)		○	
33	1/29	木	Lesson7 (4)	○		
34	2/5	木	Lesson7 (5)		○	
35	2/12	木	Lesson7まとめ 現在完了		○	
36	2/19	木	試験対策	○		
37	2/		後期期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
英 語		英語コミュニケーションⅠ (3 年次)	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	井 坂 朝 子	
指導目標						
1. 英語を通じて、日本や世界の歴史に目を向け、視野を広げる。						
2. 習得した英語を使い、自分意思を伝えられるようにする。						
3. 習得した英語を使った相手の考えを聞き取り、理解できるようにする。						
スクーリング	全 27 回	面接指導： 16 回 講 義： 2 回	教科書	All Abroad! English CommunicationⅠ (東京書籍)		
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	前 期： 2 回 後 期： 1 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	Warm-up / Lesson 8 (1)	○		第1回(4/17)
2	4/24	木	Lesson 8 (2)			第2回(5/15)
3	5/1	木	Lesson 8 (3)	○		
4	5/8	木	Lesson 8 (4)		○	
5	5/15	木	Lesson 8 まとめ	○		
6	5/22	木	試験対策	○		
7	5/		前期中間試験			
8	6/5	木	試験返却 / Lesson 9 (1)	○		第3回(7/10)
9	6/12	木	Lesson 9 (2)			
10	6/26	木	Lesson 9 (3)	○		
11	7/3	木	Lesson 9 (4)			
12	7/10	木	Lesson 9 まとめ	○		
13	7/17	木	試験対策	○		
14	7/		前期期末試験			
15	9/18	木	試験返却	○		
16	9/25	木	Lesson10 (1)			第4回(10/2)
17	10/2	木	Lesson10 (2)	○		
18	10/9	木	Lesson10 (3)			第5回(10/23)
19	10/16	木	Lesson10 (4)		○	
20	10/23	木	Lesson10 まとめ	○		
21	10/30	木	Reading (1)	○		第6回(11/20)
22	11/6	木	Reading (2)			
23	11/13	木	Reading (3)	○		
24	11/20	木	Reading (4)	○		
25	11/27	木	1年間のまとめ	○		
26	12/4	木	試験対策	○		
27	12/		後期期末試験			

教 科	科 目		期 間	担 当 者
家庭	家庭基礎	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	中野都子
指導目標 1. 家庭管理における基礎的な知識を得る。 2. 得た知識を活用して、豊かな生活を送れるようにする。 3. 自立に向けて生活技術を身に付ける。				
スクーリング	全 38 回	面接指導： 20 回 講 義： 6 回	教科書	大修館書店 クリエイティブ・リビング
レポート	全 8 回	添削指導： 8 回 そ の 他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	第1章 生活のマネジメント		○	第1回 (4/24)
2	4/24	木	第2章 青年期の課題と自立（添削指導）			
3	5/1	木	第3章 家族・家庭生活のマネジメント—家族・家庭・世帯	○		第2回 (5/22)
4	5/8	木	第3章 家族・家庭生活のマネジメント—家族関係	○		
5	5/15	木	第3章 家族・家庭生活のマネジメント—家族と法律（添削指導）			
6	5/22	木	中間試験範囲の復習		○	
5/26(月)～5/29(木) 前期中間試験						
7	6/5	木	試験返却・解答 第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	○		第3回 (6/19)
8	6/12	木	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント—子どもの世界を知る	○		
9	6/19	木	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント—胎児の発育（添削指導）			
10	6/26	木	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント—胎児の発育	○		第4回 (7/10)
11	7/3	木	第5章 高齢期の生活のマネジメント—高齢者の心身の特徴（添削指導）			
12	7/10	木	第5章 高齢期の生活のマネジメント—高齢者の心身の特徴	○		
13	7/17	木	期末試験範囲の復習		○	
7/22(火)～7/24(木) 前期期末試験						
14	9/4	木	第6章 共生社会をつくる—家族・家庭を支える福祉		○	第5回 (9/25)
15	9/18	木	第6章 共生社会をつくる—社会保障と地域福祉	○		
16	9/25	木	第6章 共生社会をつくる—社会保障と地域福祉	○		
17	10/2	木	第8章 経済生活のマネジメント—家計の構造と社会	○		第6回 (10/16)
18	10/9	木	第8章 経済生活のマネジメント—経済計画とリスク管理	○		
19	10/16	木	第8章 経済生活のマネジメント—消費と契約（添削指導）			
20	10/23	木	第8章 経済生活のマネジメント—支払い方法の多様化・消費者問題	○		第7回 (11/6)
21	10/30	木	第8章 経済生活のマネジメント—支払い方法の多様化・消費者問題	○		
22	11/6	木	第8章 経済生活のマネジメント—消費者保護の法律としくみ（添削指導）			
23	11/13	木	第9章 食生活のマネジメント—栄養バランスの良い食事	○		第8回 (11/27)
24	11/20	木	第9章 食生活のマネジメント—栄養素の働き	○		
25	11/27	木	第9章 食生活のマネジメント—栄養素の働き（添削指導）			
26	12/4	木	中間試験範囲の復習		○	
12/8(月)～12/11(木) 後期中間試験						
27	12/18	木	試験返却・解答 第10章 衣生活のマネジメント	○		第9回 (5/27)
28	1/8	木	第10章 衣生活のマネジメント—被服材料と機能	○		
29	1/15	木	第10章 衣生活のマネジメント—被服材料と機能	○		
30	1/22	木	第11章 衣生活マネジメント—被服の管理（添削指導）			
31	1/29	木	第11章 衣生活マネジメント—被服の管理	○		
32	2/5	木	第11章 住生活のマネジメント—住まいの機能と住まい方	○		
33	2/12	木	第11章 住生活のマネジメント—住要求の特徴と住生活	○		
34	2/19	木	期末試験範囲の復習		○	
2/20(金)～2/26(木) 後期期末試験						

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田美容専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
情 報		情 報 I		単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	糸 賀 雅 史 ‘
指導目標						
1. 情報社会に対応するのに必要な知識と技能を習得する。						
2. 課題や目的に応じた情報手段の活用や発信・伝達する能力など情報活用の実践力を身に着ける。						
3. 情報手段の特性の理解など情報の科学的な理解社会での情報技術が果たしている役割への理解を深める						
4. 以上を通じて情報社会に適切に参画する態度を身に着ける。						
スクーリング	全 27 回	面接指導： 8 回 講 義： 9 回	教科書	実教出版 図説 情報 I		
レポート	全 10 回	添削指導： 6 回 その他： 4 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	前 期： 2 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/21	月	情報社会と私たち	○		第 1 回(5/12)
2	4/28	月	情報の管理と保護		○	
3	5/12	月	知的財産権	○		第 2 回(5/26)
4	5/19	月	著作権			
5	5/26	月	前期中間試験			
6	6/2	月	情報セキュリティ1	○		第 3 回(6/16)
7	6/9	月	情報セキュリティ2		○	
8	6/16	月	問題解決とアルゴリズム		○	第 4 回(6/30)
9	6/23	月	KJ 法			
10	6/30	月	メディアの機能と特性	○		第 5 回(7/22)
11	7/14	月	メディアリテラシーとコミュニケーション		○	
12		月	前期期末試験			
13	9/29	月	さまざまな情報システム	○		第 6 回(10/27)
14	10/20	月	モデル化とシミュレーション			
15	10/27	月	デジタル表現の特徴と 2 進数と情報量	○		第 7 回(12/1)
16	11/10	月	数値のデジタル表現 1		○	
17	11/17	月	数値のデジタル表現 2		○	第 8 回(12/22)
18	12/1	月	文字のデジタル表現			
19	12/8	月	後期中間試験			
20	12/15	月	音声・画像のデジタル表現	○		第 9 回(2/2)
21	12/22	月	圧縮とファイル形式			
22	1/19	月	さまざまな情報機器		○	第 10 回(2/24)
23	1/26	月	ハードウェアとソフトウェア		○	
24	2/2	月	ビジュアルプログラミング	○		第 10 回(2/24)
25	2/9	月	ネットワークの仕組み		○	
26	2/16	月	TCP/IP			
27		月	後期期末試験			

東海大学付属望星高等学校 技能連携 町田美容専門学校(Bクラス) シラバス

年度		期間	科目		担当	
2024		年間	高校現代文明論（ 3年次 ）		1単位	飯 塚 浩
指導目標		自らに「人生いかに生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培う。				
スクーリング		全 5 時間		合格時間数 出席回数 3 以上	教科書	東海大学出版 新編高校現代文明論
レポート		全 3 通		合格 3 通	教材	配布プリント など
中間試験		なし		評価法 100点法 5段階評定	必修単位	1単位
期末試験		なし				
回	日付	50分授業形式 (学習項目)			レポート (締切期間)	
1		校長講話			1年次に実施 '第1回レポート	
2		主権者教育			2年次に実施 '第2回レポート	
3		学習テーマ:「高校現代文明論は何を学ぶ科目なのか？」 ・松前重義の生い立ちと東海大学の歴史 ・現代文明論の始まりと高校現代文明論で学ぶこと ①自分の人生について考える科目 意義ある人生を送るため、多様なものの見方から、正しいものの見方・ 考え方とは何かを考える ②人道主義・人格主義に基づいた考え方を学ぶ科目 人類の幸せや世界平和について考え、自分も他人も大事にできる心が 持てるようになる			第3回レポート	
4		学習テーマ:「人の生き方に学ぶ①」 山田 守(未来を考えた建築) DOKOMOMOと東海大学湘南キャンパス校舎群 1964年ごろの湘南キャンパス 山田守の功績 山田守の湘南キャンパス校舎への思い			第4回レポート	
5		学習テーマ:「人の生き方に学ぶ②」 松前 重義(人との出会い) 大学時代の出会い 通信省時代の出会い 内村鑑三との出会い ドイツ留学での出会い			第5回レポート	
備考						